

砂澤ビッキ

札幌

本郷新記念札幌彫刻美術館
Hongo Shin Memorial Museum of Sculpture, Sapporo

2019.4.27 [Sat] - 6.30 [Sun]

開館時間 / 10:00~17:00 (入館は閉館の30分前まで)

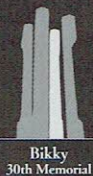
休館日 / 月曜日 ただし、4/29(月祝)、4/30(火)、5/6(月振)は開館し、5/7(火)は休館

観覧料 / 一般 500(400)円、65歳以上 400(320)円、高大生 300(250)円、中学生以下 無料

※()内は10名以上の団体料金

主催 / 本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団) 後援 / 北海道、札幌市、札幌市教育委員会
本郷新記念札幌彫刻美術館

〒064-0954 札幌市中央区宮の森4条12丁目 TEL.011-642-5709 <http://www.hongoshin-smos.jp>



砂澤ビッキ 樹

2019年に没後30年を迎える北海道生まれの彫刻家、砂澤ビッキ(1931-1989)。木に秘められた堂々たる生命力を掘り出す雄大な作品によって、高い評価を得ています。そうした作品の制作に打ち込むかわらで、ビッキの彫刻家としての心をとらえていたのは、ややもすると芸術の低位に位置するものであるかのように、「工芸的」とくられてきた作品群でもありました。

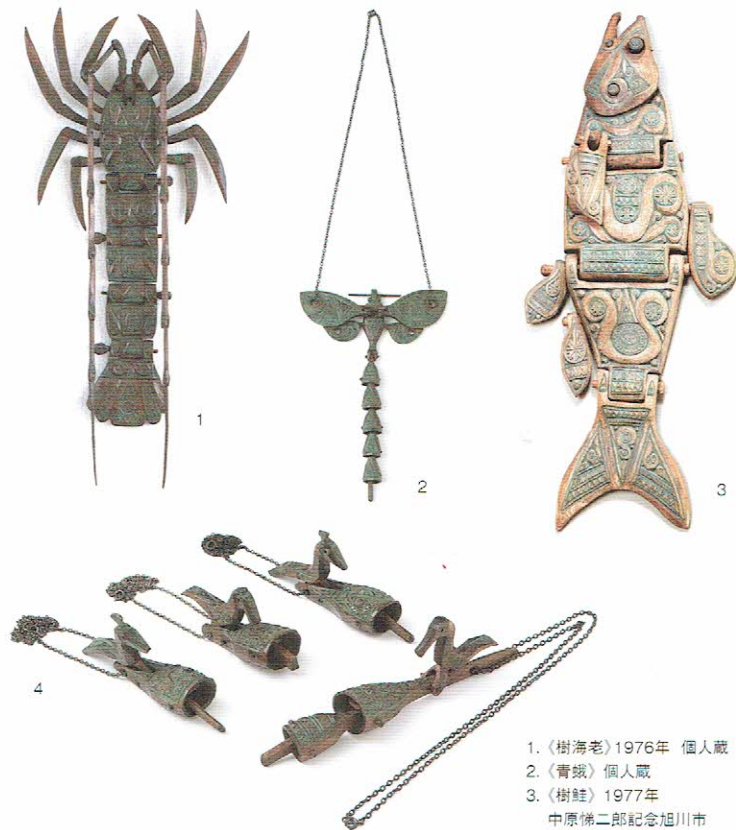
本展では、1960年代後半から70年代の有機的な造形を追求した《テントクル》や《アニマル》シリーズと並行して制作された虫や魚をモチーフにした作品を中心に構成します。これらの作品には、十字に交差する線、円、三角形など独特の「ビッキ文様」が彫られています。父からアイヌの小刀マキリを用いた伝統的な木彫を学び、母から着物の文様刺繍の手ほどきを受けたビッキは、複雑な線の組み合わせによる独自の文様を生み出しました。緑青を思わせる彩色とオイルステンの仕上げによって、作品は深みのある表情をたたえています。

代表作として名高い80年代の《風》や《樹華》以前の、大胆かつ精緻な「もうひとつのビッキ」をご覧ください。

※本展は札幌芸術の森美術館および札幌文化芸術交流センター SCARTSとの連携企画で行うものです。

砂澤ビッキ SUNAZAWA, Bikky

1931年、旭川市に生まれる。父の死後、母の住む阿寒湖畔に移住。その後鎌倉にも拠点を構え、文学青年のサークルに入り、流澤龍彦らと交友する。モダンアート協会展を中心に作品を発表した。1959年に旭川に戻ったのち、札幌での生活を経て、1978年末から音威子府村成島でダイナミックな造形の大作に打ち込む。1983年10月から翌1月にかけてのカナダのブリティッシュ・コロンビア州における滞在は、以後の作品制作の転機となった。



1. 《樹海老》1976年 個人蔵
2. 《青蛾》個人蔵
3. 《樹蛙》1977年
中原悌二郎記念旭川市
彫刻美術館所蔵
4. 《樹鈴》個人蔵

【関連事業】

●ギャラリートーク 学芸員が会場をご案内いたします。
5/11(土)、6/1(土) 11:00-11:40 ※予約不要、参加無料(ただし要観覧券)

●砂澤ビッキウィーク

ビッキと親交の深かった方々による連続トークや、関連映像の上映、晩年を過ごした音威子府のアトリエでの様子を撮影した写真の展示を行います。これまで札幌ではあまり語られる機会がなかった側面から、その制作姿勢や人間性に改めて迫ろうとするものです。

会期/5月21日(火)~25日(土) 10:00~19:00
会場/札幌文化芸術交流センター SCARTSスタジオ(札幌市民交流プラザ2階)

●砂澤ビッキ関連映像上映

5月21日(火)~25日(土) 10:30~19:00(ただし、連続トーク中を除く)

●連続トーク1「父として、作家仲間として」

5月24日(金) 18:00~20:10

出演/橋本正司(彫刻家)、矢崎勝美(版画家)、砂澤陣(工芸家)

●連続トーク2「音威子府の10年」

5月25日(土) 13:30~16:30

出演/河上賢(エコミュージアムおさしまセンター名誉館長)、井上浩二(写真家)、能藤玲子(舞踏家)、藤嶋俊會(元神奈川県民ホールギャラリートーク学芸員)

すべて入場無料 定員70名 予約不要

問い合わせ/札幌文化芸術交流センター SCARTS

TEL.011-271-1955

※詳細は各会場ホームページ、チラシをご覧ください。



撮影/井上浩二(1979年)

同時開催

●札幌美術展 砂澤ビッキ一風一

札幌芸術の森野外美術館に常設展示される《四つの風》は、ビッキの生前の意図を汲み、自然の成り行きにまかせ「風雲という名の鑿(のみ)」により変化を続けています。本展では「風」シリーズを中心とした彫刻作品によって、ビッキの功績を回顧します。

会期/4月27日(土)~6月30日(日)

時間/9:45~17:00(6月は~17:30)

会場/札幌芸術の森美術館

(札幌市南区芸術の森2丁目75番地)

観覧料/一般1,000(800)円

大学・高校生700(560)円

中学・小学生400(320)円

休館日/会期中無休

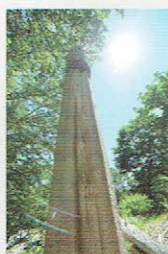
※()内は前売り、20名以上の団体料金

※小学生未満無料

※当館で開催の「砂澤ビッキ一樹一」展のチケット半券をご提示いただくと、()内の料金で入場できます(一回限り有効、招待券をのぞく)

問い合わせ/札幌芸術の森美術館

TEL.011-591-0090



砂澤ビッキ《四つの風》
1986年
札幌芸術の森野外美術館
(2018年、前澤良彰撮影)



記念館へもどうぞお立ち寄りください

本館に隣接する記念館は、彫刻家・本郷新が東京で活躍する傍ら故郷に建てたアトリエです。本郷が手がけたスケールの大きな野外彫刻の石膏原型や、ブロンズ、木彫、テラコッタなどの代表作のほか、制作道具、家具などを常設展示。かつての邸宅の雰囲気なかで、本郷新の芸術とその制作の息吹にふれることができます。

〈展示作品をリニューアル〉

本郷新の歩みと芸術

彫刻家・本郷新の人となりや制作姿勢を、作品や資料を通してご紹介します。

2019年4月6日より通年 休館日/月曜日

※ただし祝日の場合は開館し、翌火曜休館



《わたつみのこえ》制作中の本郷新

割引チケット

この券をご持参の方は下記のとおり割引いたします。(1枚につき4名様まで)

一般 500円→400円

65歳以上 400円→320円

高大生 300円→250円

砂澤ビッキ 樹



交通アクセス

- 地下鉄東西線「西28丁目」駅バスターミナル2番のりばから山の手線循環西20乗車(約5分)、「彫刻美術館入口」下車、徒歩約10分
- 市内中心部より車で約15分、無料駐車場あり(10台)

本郷新記念札幌彫刻美術館

Hongo Shin Memorial Museum of Sculpture, Sapporo

〒064-0954 札幌市中央区宮の森4条12丁目

TEL 011-642-5709

<http://www.hongoshin-smos.jp>

twitter.com/sapporochobi

<https://www.facebook.com/inmyroomsapporochobi>

最新情報はフェイスブック、ツイッターからどうぞ。